

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
0 建築物の環境品質								3.4
Q1 室内環境					0.40			3.3
1 音環境				2.4	0.15	-	-	2.4
1.1 騒音				3.0	0.70	-	-	
1.1.1 騒音				3.0	1.00	3.0	-	
1.1.1.1 暗騒音レベル				-	-	-	-	
1.1.1.2 設備騒音対策				-	-	-	-	
1.2 遮音				-	-	-	-	
1.2.1 開口部遮音性能				3.0	-	3.0	-	
1.2.2 界壁遮音性能				3.0	-	3.0	-	
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	-	
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音				1.0	0.30	3.0	-	
2 温熱環境				3.1	0.35	-	-	3.1
2.1 室温制御				3.3	0.50	-	-	
2.1.1 室温設定				3.0	0.50	3.0	-	
2.1.2 負荷変動・追従制御性				-	-	-	-	
2.1.3 外皮性能				3.0	0.17	3.0	-	
2.1.4 ゾーン別制御性			EHPによるゾーニングごとの冷暖房切換え方式	4.0	0.33	3.0	-	
2.1.5 温度・湿度制御				-	-	-	-	
2.1.6 個別制御				-	-	-	-	
2.1.7 時間外空調に対する配慮				-	-	-	-	
2.1.8 監視システム				-	-	-	-	
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境				3.0	0.25	-	-	3.0
3.1 昼光利用				3.0	0.50	-	-	
3.1.1 昼光率				3.0	-	3.0	-	
3.1.2 方位別開口				-	-	3.0	-	
3.1.3 昼光利用設備				3.0	1.00	3.0	-	
3.2 グレア対策				-	-	-	-	
3.2.1 照明器具のグレア				-	-	-	-	
3.2.2 昼光制御				3.0	-	3.0	-	
3.3 照度				-	-	-	-	
3.3.1 照度				3.0	-	3.0	-	
3.3.2 照度均斉度				-	-	-	-	
3.4 照明制御				3.0	0.50	3.0	-	
4 空気環境				4.3	0.25	-	-	4.3
4.1 発生源対策				5.0	0.50	-	-	
4.1.1 化学汚染物質			建材はF 等級品採用。又、VOC発散量少のものを採用	5.0	1.00	3.0	-	
4.1.2 アスベスト対策				-	-	-	-	
4.1.3 ダニ・カビ等				-	-	-	-	
4.1.4 レジオネラ対策				-	-	-	-	
4.2 換気				3.5	0.30	-	-	
4.2.1 換気量				3.0	0.50	3.0	-	
4.2.2 自然換気性能				3.0	-	3.0	-	
4.2.3 取り入れ外気への配慮			給排気口離隔6m以上確保	4.0	0.50	3.0	-	
4.2.4 給気計画				-	-	-	-	
4.3 運用管理				4.0	0.20	-	-	
4.3.1 CO ₂ の監視				3.0	0.50	-	-	
4.3.2 喫煙の制御			喫煙室を単独に確保し、建物内は禁煙	5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.5
1 機能性				3.9	0.40	-	-	3.9
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	-	-	
1.1.1 広さ・収納性				3.0	-	3.0	-	
1.1.2 高度情報通信設備対応				3.0	-	3.0	-	
1.1.3 バリアフリー計画				3.0	1.00	3.0	-	
1.2 心理性・快適性				4.6	0.30	-	-	
1.2.1 広さ感・景観			売場内の天井高さ1階3950、2階3500を確保	4.0	0.33	3.0	-	
1.2.2 リフレッシュスペース			職員用リフレッシュ兼用食堂、来店者用に自販機を配置	5.0	0.33	3.0	-	
1.2.3 内装計画			商品に配慮した内装計画	5.0	0.33	3.0	-	
1.3 維持管理				4.5	0.30	-	-	
1.3.1 維持管理に配慮した設計			メンテナンス容易な床・壁材料及び仕上仕様に配慮。外部金属はメンテナンス仕様	5.0	0.50	-	-	
1.3.2 維持管理用機能の確保			諸設備の維持管理作業を可能とした。	4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性				3.0	0.31	-	-	3.0
2.1 耐震・免震				3.0	0.48	-	-	
2.1.1 耐震性				3.0	0.80	-	-	
2.1.2 免震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.33	-	-	
2.2.1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.23	-	-	
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.23	-	-	
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.09	-	-	
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.08	-	-	
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.15	-	-	
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.23	-	-	

2.3 適切な更新			-	-	-	-	
2.4 信頼性			3.2	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	通信手段の多様化、精密機器の浸水の危険性なし	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.6	0.29	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり			5.0	0.31	-	-	
1	階高のゆとり	用途、設備の変更・更新が可能である。	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	空間形状において自由度に配慮	5.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		サム・ジュ・モール商店街への景観の配慮	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.9
1 建物の熱負荷抑制		基準値より高い省エネルギー性能を有する。	4.0	0.30	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		ERR=46.3	5.0	0.30	-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-	3.0
1.1	節水		3.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.5	0.63	-	-	3.5
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用	地盤面下の地下外壁の利用を図った。	4.0	0.25	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.21	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.21	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上材が容易に分別可能。	4.0	0.25	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22	-	-	3.2
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.3	0.68	-	-	
1	消火剤	ハロン消火剤は一切使用しない	4.0	0.33	-	-	
2	断熱材		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮		壁面緑化を採用し、冷暖房負荷低減を図った。	5.0	0.33	-	-	5.0
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.50	-	-	
2	振動		3.0	0.50	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	曇光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	